

ゆず風呂で ポッカポカ



県内随一のゆず産地・上之保の上之保温泉ほほえみの湯で、ゆず風呂が始まりました。地元で収穫された無農薬ゆず約20個をネットに入れ、男湯と女湯それぞれの内風呂に3～4袋ずつ入れています。

ゆず風呂は疲労、筋肉痛などに効くほか、女性にはうれしい美肌効果もあるとのこと。12月21日までの毎週火曜日と日曜日に実施します。湯気とともに運ばれるゆずの香りをお楽しみください。

あんな事、こんな事



暴力団の勢力拡大阻止へ

公正な市政運営の確保と暴力団の弱体化に向け、関市は関警察署と「暴力団排除に関する合意書」を締結しました。市は今後、入札・物品購入などの契約や公民センターなどの施設の使用について、暴力団の関与が疑われる場合には、警察に確認して排除できるようになりました。暴力団が市民や行政に入り込まないように安全・安心の連携強化を図りました。

慣れ親しんだ刃物に感謝

使い込まれ役目を終えた刃物を供養する「刃物供養祭」が関鍛冶伝承館で行われました。全国各地から包丁やはさみなど約35,000本が寄せられ、厳かに神事が行われました。作り手、使い手の立場で刃物に感謝し、日ごろの生活・文化に欠かせない道具として今後も正しい使い方を啓蒙していきます。回収された刃物は災害時用に備蓄するほか、新たな鋼材として生まれ変わります。





赤谷池でゲンゴロウ

外来種の駆除と池の水の浄化を目指して、下有知の農業用ため池「赤谷池」の水を3年ぶりに抜きました。地元児童や住民らが全身泥だらけになって池に入ったり、水路手前で水をせき止め、網でブラックバスなどの魚をすくい上げました。在来種はタニシの仲間やスジエビなどが確認できました。外来種は全て処分するため、捕獲した魚などを分類しました。再び水が入るのは来年3月の予定です。

とても楽しい！理科の実験

サイエンス演芸師の北沢善一さんによる「わくわく科学宅配便」が富岡小学校で開かれ、いつもとはひと味違う科学実験で、児童らは驚きと感動を体験しました。風を使って物を浮かせるなど次々と披露される実験ショーに児童は大歓声。人気を集めた空気砲は、空気の流れを目で見て感じさせるため、箱の中に煙をたき、どんとたたいて押し出すと迫力ある巨大な輪が体育館いっぱいまで飛んでいきました。



子どもの健やかな成長を願って

11月の児童虐待防止月間にあわせて「ぎふオレンジリボン」啓発キャラバン隊が関市を訪問しました。知事からの「子どもを虐待から守るメッセージ」の伝達や、キャラバン隊代表で岐阜エフエム放送パーソナリティの小島愛さんによる啓発のあいさつがありました。市長やはもみん、ミナモ、要保護児童対策地域連絡協議会委員らが歓迎。今後も虐待のない社会を目指して取り組みます。

かわいい風船の大冒険

11月に開催された津保川産業祭で、上之保保育園児が絵を描いて飛ばした風船が、中央アルプスを越え、東に遠く離れた長野県駒ヶ根市まで届きました。後日、拾い主から写真と手紙が届き、「風船は動いている美容室に飾ってあります。お客さんがかわいいねと見てくださいます。風船のおかげで私の周りの笑顔が増えました」とつぶられていました。思いがけない手紙に園児らは喜んでいました。



ほれ話



国勢調査票の確認に忙殺。新聞などでも報道されましたが、関市も例外ではありませんでした。プライバシー保護のために、今回から回収時のチェックができなかったことも原因で記入誤り、記入漏れなどが多くありました。確認は、任命された市職員が休日・夜間返上で作業しましたが、電話などで本人を確かめ協力を求めると「どうして教えなきゃいけないの」と断られたり、連絡先が書かれていないなど点検に時間がかかる状況でした。

そんな中、秋の叙勲で瑞宝単光章を受章された金子玉枝さん(観音前)が市長に喜びを報告されました。工業統計などの調査に100回近く従事され、38年間も活躍されています。どの調査も内容を十分に把握し、市内の広範囲を自転車で移動し、留守宅にも何度も足を運んでいるそうです。その強い責任感と行動力には頭が下がる思いです。「調査は毎回初めてのつもりになって、親切丁寧に説明することを心がけてきた」と話す金子さん。このような人たちのおかげで、正確な統計調査が成り立っているのだと強く実感しました。